

# the People

元気なまちには 元気な主張を続け  
元気に行動する 市民がいる

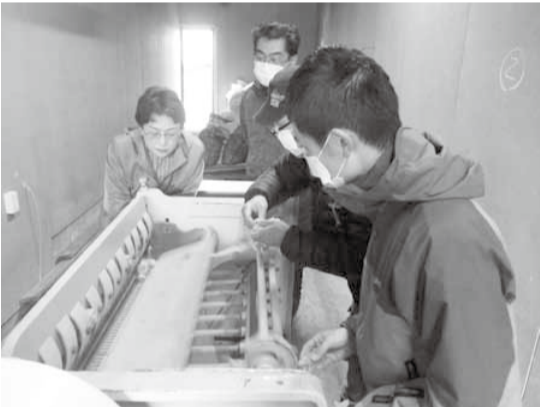
the people (ザ・ピープル)  
2013年 4月発行

発行：特定非営利活動法人 ザ・ピープル  
代表者：吉田 恵美子  
所在地：福島県いわき市小名浜字蛭川南5-6  
タウンモールリスポ内  
TEL：0246-52-2511 FAX：38-9538  
E-mail：the-people@email.plala.or.jp  
URL：http://www.iwaki-j.com/people/

## オーガニックコットンプロジェクト、2年目、始動です!

昨年からはじまったオーガニックコットンプロジェクト。2年目を迎えて栽培地も双葉郡広野町、南相馬市まで広がったことで、「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」と改めて、2年目がスタートしました。今年は栽培地も30ヶ所程に増え、面積は2.7ha（昨年度は15ヶ所、1.5ha）となり、更にパワーアップしたプロジェクトとなります。今年はいわきや近郊在住の方々にもっと気軽に参加して頂ける、市民参加型のプロジェクトとして発展させていきたいと考えて、サポーターの参加呼び掛けを始めています。現在は5月の種蒔きへ向けた準備を進めているところ。ご一緒にコットン栽培をいわきに根付かせてみませんか。

昨年度収穫された綿は、コットンベιβとしての販売が既に4,000個を達成し、現在もたくさんの追加注文を頂いている状況です。ピープルから旅立ったたくさんのベιβたちが日本全国で育てられ、秋にはまた綿となってピープルに帰ってくる予定です。（ベιβをお買い上げいただいた皆様、5月には種蒔き忘れずによりしくお願いします!）



一方で、1月には市内好間町の有限会社木紅木さんの工場内に綿繰り機を設置させて頂き、綿を綿毛と種に分離させる作業を行いました。この綿繰りの工程では、綿に付着している葉等の細かいゴミが除かれずにそのまま綿毛に混入してしまうことが判明したため、急遽、膨大な綿のゴミ取り作業をする事となり、大変多くの皆様にご協力頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。今年度の収穫時には、ごみの取り除き作業を徹底して行わなくてはならないという大きな教訓を得ました。

こうしてできた綿の総量は当初の目標には及びませんでしたが、種を含んだままの総重量は300kgとなりました。配合割合を5%としてアメリカ産のオーガニックコットン（自綿）と混紡し、6月にはTシャツとして出来上がるべく、広島（製糸）→和歌山（ニットング）→福島（縫製）という長い工程の途中です。Tシャツは9500枚出来上がる見込みです。本プロジェクトのマスコット、コットンベイ

とつばき



プのイラスト入りや、福島の復興を応援するNARUTOのイラストの他、オリジナルTシャツの素材として使っていただける無地のものなどが製造されます。たくさんの方の手で大事に育てられた、ピープルのコットンから出来上がる一代目の製品を手取る日が今から楽しみです。

今年度も地球環境基金の助成の継続が決定しました。昨年度の助成事業として1月には会津を訪れて会津木綿の伝統を受け継ぐ活動をしている『NPO法人はるなか』さんの糸紡ぎ研修会に参加するツアーを開催しました。綿から直接糸を作る体験をし、NHK大河ドラマの八重の桜の展示館にも立ち寄り、八重が着ている会津木綿の衣装の展示などを鑑賞しました。今年も楽しいスタディーツアーなどを企画してまいりますので、皆様ふるってご参加下さい。



この他にも本プロジェクトにはたくさんの支援が寄せられています。

農機具販売の（株）クボタからはいわき市社会福祉協議会に対してミニ耕耘機6台と、粉碎機1台が寄贈されました。双葉郡から避難してこられた方たちの住む仮設住宅の近くに設けられ、コットン栽培地と家庭菜園双方の顔を持つ『おてんとさんファーム』等での、農作業に早速活躍しています。

味の素冷凍食品から農業復興支援金が寄付され、先日、贈呈式が行われたタウンモールリスポ内では餃子の振る舞いも行われました。（敬称略）



日立環境財団からオーガニックコットンプロジェクトへの助成が決定しました。さらに、住友商事の東日本ユースチャレンジプログラムの助成も決定し、4月14日に住友商事本社にて贈呈式に出席しました。このプログラムは東日本大震災の復興支援に取り組む大学生などの若者を中心とした48の活動への助成を行うというもので、贈呈式は復興支援に携わるたくさんの若者達と交流し、意見交換する貴重な場となりました。

ピープルでは、昨年からの『全国高校生みんなDE笑顔プロジェクト』の中でのコットン栽培というきっかけを得て始まった福島県立磐城農業高校の生徒と、鳥取県米子南高校の綿ガールズたちとのコラボレーション活動の継続を支援します。綿ガールズは在来種『伯州綿』の栽培を行い、弓浜餅の継承を試みる活動を続けています。両校の生徒の交流から若者ならではの自由な発想で'素敵モノづくり'を期待しているところです。

たくさんの方にご協力いただき、紆余曲折を何とか乗り越えてきたコットンプロジェクト1年目の種が色々ところで芽を出し始めています。今年度はこの芽が大きく育つように、昨年の経験を生かしながら、大きな飛躍の年にしていきたいと思ひます。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

取り組んで2年目となる今年度は、面的には去年より倍近くとなる面積にコットン栽培が社会に認識されてきたと、今年度より倍近くとなる面積にコットン栽培が社会に認識されてきたと、今年度より倍近くとなる面積にコットン栽培が社会に認識されてきたと...

取り組んで2年目となる今年度は、面的には去年より倍近くとなる面積にコットン栽培が社会に認識されてきたと、今年度より倍近くとなる面積にコットン栽培が社会に認識されてきたと、今年度より倍近くとなる面積にコットン栽培が社会に認識されてきたと...